

供給設備の技術上の基準

（容器による貯蔵能力が1,000kg以上3,000kg未満のものに限る）

1. 保安距離	①第1種保安距離(法定16.97m・障壁設置0m) 実際距離 <u>20m</u> 保安物件の名称 <u>〇〇小学校</u> ②第2種保安距離(法定11.31m・障壁設置0m) 実際距離 <u>15m</u> 保安物件の名称 <u>〇〇マンション</u>
2. 障壁	①障壁の構造 材料 <u>鉄筋コンクリート</u> 寸法(高さ) <u>200cm</u> (厚さ) <u>15cm</u> ②扉の構造 材料 <u>鋼板</u> (厚さ) <u>0.4cm</u> ③扉の補強 等辺山形鋼(枠) <u>〇mm</u> × <u>〇mm</u> (内) <u>△mm</u> × <u>△mm</u> 間隔(縦) <u>□cm</u> (横) <u>△cm</u>
3. 火気取扱施設との距離	①火気等の種類 <u>屋外給湯器</u> 火気等との距離 <u>6.5m</u> ②火気距離が5m未満 障壁(材料) _____ 高さ _____ m
4. 滞留防止	①貯蔵設備面積 <u>5.0m²</u> 法定換気口面積 <u>1,500cm²</u> ②実際の換気口面積 <u>3,200cm²</u>
5. 柵、塀等の設置	柵、塀等の種類 <u>鋼板製容器収納庫</u>
6. 警戒標	①掲示位置 <u>収納庫側面</u> ②表示内容 <u>LPガス貯蔵設備、燃(赤色文字)、火気厳禁(赤色文字)</u>
7. 消火設備	①粉末消火器 <u>20型 (A-5、B-10) ×2本</u> (A-4、B-10以上のもの 貯蔵能力1,000kgにつき1個以上) ②その他
8. 軽量の屋根等	①屋根の場合 その材料 <u>繊維強化セメント板</u> ②遮蔽板の場合 その材料 <u>薄鉄板</u>
9. 転倒防止等の措置	①貯蔵設備の床は水平で、かつ上から物が落ちる恐れがないようにする。 ②転倒防止チェーンによる転倒防止措置を講ずる。
10. 腐食防止置	①容器は十分に防錆塗装がされたものを使用する。 ②貯蔵設備は排水のよい構造とし、容器の底部を乾きやすくする。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。